令和４年度
箱根町社会福祉協議会事業報告書

①.　法人運営事業　‥P1
②.　調査研究事業　‥P5
③.　企画広報事業　‥P5
④.　部会委員会事業　‥P6
⑤.　福祉総合相談事業　‥P7
⑥.　ボランティアセンター活動事業　‥P9
⑦.　地域福祉推進事業　‥P12
⑧.　共同募金配分金事業　‥P17
⑨.　日常生活自立支援事業　‥P20
⑩.　資金貸付事業　‥P20
⑪.　地域活動支援センター事業　‥P22
⑫.　生活支援コーディネーター事業　‥P25
⑬.　基金運営事業　‥P27
⑭.　居宅介護支援事業　‥P27
⑮.　訪問介護事業　‥P28
⑯.　障害者居宅介護事業　‥P29
⑰.　通所介護事業　‥P30
⑱.　地域包括支援センター事業　‥P32

※　神奈川県共同募金箱根町支会　‥P43

社会福祉法人**箱根町社会福祉協議会**

１．法人運営事業

理事会、評議員会、監事会、評議員選任・解任委員会の運営について、役員を中心に適正な法人運営を行いました。感染症の流行状況等を踏まえ、各種会議の開催を書面によるみなし決議等へ変更するなど、柔軟な法人運営業務を行いました。

会員募集では本会事業の周知を行い、町内各世帯、企業・事業所等の皆さまの会員募集に努めました。近年は、福祉分野以外の企業等との連携を深め、積極的な法人への会員の周知を行うなど、法人会員を中心に顔の見える関係づくりを意識した活動を行いました。自治会を通じた個人会員については、住民の皆さまのご理解・ご協力により、安定した会員・会費の確保につながっています。

サービス向上の取り組みでは、福祉サービス向上委員会を開催し、苦情の解決及び福祉サービスの質の向上を図りました。職場内においては、職員に向けたサービス向上標語を毎月設定し、職場内でのサービス向上に向けた意識改革を行いました。

(1)　理事会

①第１回

日　時　令和４年５月27日（金）　午後　２：００　～　３：３０
場　所　箱根町社会福祉協議会　会議室
出席者　理事　１０名（意見書提出　１名）、監事　２名、事務局　４名
内　容　第１号議案　令和３年度事業報告並びに決算報告
第２号議案　評議員候補者の推薦について
第３号議案　評議員選任・解任委員会の開催について
第４号議案　定時評議員会の開催について

②第２回　※新型コロナウイルス感染症拡大防止のためみなし決議（決議の省略）

決　議　書面による決議の省略（令和４年８月１７日付）
内　容　第１号議案　顕彰規程に基づく顕彰者の決定について
第２号議案　役員候補者の推薦について
第３号議案　評議員候補者の推薦について
第４号議案　評議員会の開催について
第５号議案　評議員選任・解任委員会委員の選任について
第６号議案　評議員選任・解任委員会の開催について
報告第１号　会長及び常務理事の職務の執行状況について

④第３回

日　時　令和５年３月９日（木）　午後　２：００　～　３：３０
場　所　箱根町社会福祉協議会　会議室

出席者　理事　１０名（意見書提出　１名）、監事　２名、事務局　３名
内　容　第１号議案　副会長の選定について
第２号議案　専決処分の承認を求めることについて
「職員給与規程の一部改正について」
第３号議案　就業規程の一部改正について
第４号議案　職員給与規程の一部改正について
第５号議案　令和４年度補正予算について
第６号議案　令和５年度事業計画（案）並びに予算（案）
第７号議案　評議員候補者の推薦にについて
第８号議案　評議員選任・解任委員会の開催について
第９号議案　評議員会の開催について
第 10 号議案　役員等賠償責任保険契約について
報告第１号　会長及び常務理事の職務の執行状況について

⑵　評議員会
①第１回
日　時　令和４年６月２２日（水）　午前　10：00　～　11：00
場　所　箱根町社会福祉協議会　会議室
出席者　評議員　１３名（意見書提出６人）、監事　２名、理事　２名、事務局　４名
内　容　第１号議案　令和３年度事業報告並びに決算報告

②第２回　※新型コロナウイルス感染症拡大防止のためみなし決議（決議の省略）
決　議　書面による決議の省略（令和４年９月５日付）
内　容　第１号議案　役員の選任について

③第３回
日　時　令和５年３月23日（木）　午後　２：00　～　３：１５
場　所　箱根町社会福祉協議会　会議室
出席者　評議員　12 名（意見書提出７人）、監事　１名、理事　１名、事務局　３名
内　容　第１号議案　令和４年度補正予算について
第２号議案　令和５年度事業計画（案）並びに予算（案）
報告第１号　就業規程の一部改正について
報告第２号　職員給与規程の一部改正について

⑶　監事会
①第１回
日　時　令和４年５月１３日（金）　午後　２：00　～　３：00

場　所　箱根町社会福祉協議会　役員室
出席者　監事　２名、事務局　２名
内　容　令和３年度事業・決算報告について

⑷　評議員選任・解任委員会

①第１回
日　時　令和４年６月６日（月）　　午後　２：00　～　２：30
場　所　箱根町社会福祉協議会　役員室
出席者　委員　３名、事務局　１名
内　容　第１号議案　評議員の選任について（評議員１名）

②第２回
日　時　令和４年９月５日（月）　　午後　５：30　～　６：00
場　所　箱根町社会福祉協議会　役員室
出席者　委員　３名、事務局　１名
内　容　第１号議案　評議員の選任について（評議員３名）

③第３回
日　時　令和５年３月２４日（金）　午後　５：30　～　６：00
場　所　箱根町社会福祉協議会　役員室
出席者　委員　３名、事務局　１名
内　容　第１号議案　評議員の選任について（評議員１名）

⑸　会員募集
日　時　随 時
対　象　住民一般、法人（個人・世帯、団体・企業）等

○　一般会費
個　人　　3,808 口　　1,132,800 円　（対前年度比 ＋9,900 円）
団　体　　26 口　　130,000 円　（対前年度比 △60,000 円）

○　賛助会費
個　人　　72 口　　72,000 円　（対前年度比　＋38,000 円）
団　体　　59 口　　590,000 円　（対前年度比 △81,000 円）

【合　　計】　3,965 口　　1,924,800 円（対前年度比　　△93,100 円）
（前年度）　　3,882 口　　2,017,900 円

会費収入については、住民の減少に伴い一般会費は年々減少傾向でしたが、今年度は若干増となっています。法人を中心とした団体会員については、様々な事業で町内の企業と連携した活動を行った結果、会費による協力だけの関係にとどまらず、顔の見える関係ができ、現在の安定的な会員の確保につながっています。近年の感染症や物価高騰等の影響もあり、会員数は増加しているものの、１件あたりの会費額は減少傾向です。今後も、会員の皆さまとの関係・連携強化を図っていきます。

⑹　連絡・調整

行政、福祉関係団体・機関等との連絡調整、情報交換等を必要に応じて実施しました。前年に引き続き、新型コロナウイルス感染症に伴う貸付等の事業を効果的に実施するため、神奈川県社会福祉協議会、並びにほっとステーション小田原、箱根町、神奈川県等との連絡・調整を密に行い、定期的なケース会議などを行ったほか、民生委員の皆さまと高齢者支援に向けたケース検討会などを新たに開催しています。

また、これまでの児童福祉分野での見守り活動等が評価され、令和４年度から箱根町要保護児童対策地域協議会の委員として参画し、あらたな連携調整がスタートしました。

⑺　サービス向上に関する取組

〇福祉サービス向上委員会（旧　苦情解決第三者委員会）

日　時　令和５年２月３日（金）　午後　２：００　～　３：００

内　容　福祉サービス向上委員会について

苦情及び解決結果について（苦情対応　３件）

情報交換について

⑻　サービス向上目標に関する取り組み

〇目標の内容

４月　接遇・マナー月間　「気持ちの良い言葉を使おう」

５月　スケジュール強化月間　「１日８時間の勤務時間を有効に使おう」

６月　衛生管理・整理整頓月間　「清潔な施設でご利用者をお迎えしよう」

７月　交通安全・安全運転月間　「交通ルールを守り安全運転を心がけよう」

８月　健康管理月間　「ご利用者の健康管理・職員の体調管理を徹底しよう」

９月　防災月間　「防災に対する意識を高め、災害への備えをしよう」

１０月　目標の振り返り月間　「自分・業務・職場の目標を振り返ってみよう」

１１月　節約エコライフ月間　「身の回りの無駄をもう一度見直そう」

１２月　心のゆとり月間　「ご利用者のゆとりある生活・心にゆとりある仕事を」

１月　理念月間　「心豊かで生きがいのある福祉のまちづくりを達成しよう」

２月　報・連・相月間　「組織内の連携を強化し切れ目ない支援を徹底しよう」

３月　自己評定月間　「１年間の取組を評価し、新たな目標を設定しよう」

2．調査研究事業

⑴　新規事業の調査、研究

住民の方々の意見を参考に、行政及び近隣社会福祉協議会との情報交換を密に行い、住民ニーズに即した新たな事業の創設に向けて調査・研究を行うため地域の相談ステーション「もっともっと」による地区別の地域アセスメント・ニーズ調査等を行いました。

⑵　職員勉強会「きらり会」の開催

地域福祉に関する事業や、地域の相談ステーション「もっともっと」の調査を基に、住民のニーズや町内の調査結果から、本会職員全体で新たな事業の検討を行うため、職員勉強会「きらり会」を月１回開催しています。

令和４年度は、今後の事業にむけた「地区担当の能力向上・地域福祉のあり方についての理解・共有」を中心に勉強会を開催しています。

日　時　月１回（不定期）　午後５：15　～　６：30
場　所　箱根町社会福祉協議会　会議室
出席者　職員　11 名　　神奈川県社会福祉協議会　１名
内　容　地区担当制総合相談体制の構築・新たな地域福祉活動の展開について

３．企画・広報事業

⑴　機関紙発行事業

福祉情報の発信と福祉意識の啓発を図るため、広報紙「社協はこね」を年３回発行しました。また、令和４年度はより迅速な情報発信を目指し、号外を４回発行するなど、福祉の情報提供を積極的に行いました。

・第１回発行　令和４年　６月　１日
・第２回発行　令和４年 10 月　１日
・第３回発行　令和５年　２月　１日

⑵　ホームページ運営事業

ホームページを活用し社会福祉協議会の実施事業や福祉に関する情報、災害時の義援金等に関する情報の周知に努めました。

ホームページのブログやＳＮＳを活用し、住民のニーズに合わせた情報発信を行いました。まただれもが情報を得やすい発信方法として、フェイスブックや YouTube、その他ホーム

ページのブログ機能の活用、高齢者向けの冊子の発行等、様々な方法による情報発信を行いました。

令和４年度は、公式 LINE を立ち上げ、事業の紹介や各種イベント等の周知活動に活用し、特に外国籍の方々とのネットワークツールとして活用しました。

⑶　社会福祉大会事業

社会福祉にご尽力された方々の功績を讃え、併せて福祉の啓発・普及を図るために、社会福祉功労者顕彰式典を開催し、表彰状、感謝状及び記念品を贈呈する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から社会福祉大会が縮小規模による開催となった為、表彰状と記念品の贈呈については、戸別訪問により実施しました。

【ライオンズクラブ戸別表彰の様子】

写真

（省略）

○ 戸別表彰

日　時　令和４年９月２９日（木）　午前 10：00　～　12：00

対　象　個人表彰者様・団体者表彰団体様

訪問先　表彰者ご自宅他　計７名・１団体

贈　呈　賞状及び記念品（寄木丸盆・スマホスタンド）

４．部会・委員会事業

町民の善意の啓発とボランティア活動の振興を図ることを目的として設置しているボランティアセンターの適正な運営を図るため、ボランティアセンター運営委員により寄付金配分案についての意見を聴取しました。

⑴　ボランティアセンター運営委員会

①　第１回ボランティアセンター運営委員会

日　時　令和４年４月 15 日（金）　午前 10：00　～　11：30

場　所　箱根町社会福祉協議会　役員室

内　容　令和３年度事業報告　・令和３年度受託金品配分報告

令和４年度事業計画

② 第２回ボランティアセンター運営委員会

日　時　令和４年10月21日（金）　午前10：00　～　11：30

場　所　箱根町社会福祉協議会　役員室

内　容　令和４年度経過報告　・令和４年度受託金品配分の審議

令和５年度活動事業計画（案）

５．福祉総合相談事業

福祉の総合的な相談窓口として、幅広い内容の相談を一括して対応できるよう、所内での連携を強化し、総合相談の受付体制を構築しました。

新たな相談窓口「地域の相談ステーションもっともっと」では、地区担当の周知も広まり、これまでの制度で対応できないどのような相談でも聞くことのできる窓口として、また、地域の行事等へ積極的に参加し、顔の見える地区担当として、幅広い活動を続けてきました。令和４年度後半からは、地区担当の能力育成のため、職員勉強会を通じて「地区担当の在り方・地域福祉について改めて考える」、を目標に、活動の内容を充実化させています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、資金貸付に関する相談を令和４年度も対応し、貸付後のフォロー等、伴走的・継続的な相談対応を行っています。

【地区担当広報誌の様子】

写真

（省略）

(1)　福祉総合相談事業

日　時　　随時

場　所　　事務局窓口　他

対　象　　住民一般

内　容　　社会福祉士等の専門家を相談員とする福祉に関わる総合相談

内　訳				
	1)	ボランティア相談	２件	（前年度比　±０件）
	2)	資金貸付相談	442件	（前年度比　△1,090件）
	3)	権利擁護に関する相談	332件	（前年度比　△740件）
	4)	その他福祉に関する相談	129件	（前年度比　＋30件）
		計	905件	（前年度比　△1,860件）

令和４年度の総合相談は、合計 905 件となっています。

内容別に見ると、新型コロナウイルス感染症に関する貸付事業の終了に伴い、資金貸付や権利擁護に関する相談はピーク時に比べ大幅に減少しましたが、感染症特例貸付（緊急小口資金・総合支援資金）以降、生活の再建に苦慮している世帯の相談を継続的に対応しています。

また、近年世帯が抱える複合的な問題や、制度等で対応することのできない複雑な相談が増え、結果的に、その他福祉に関する相談の相談件数が増加しています。

すべての相談において、断片的な支援にとどまらず、複合的な福祉課題を抱える相談者に対し、各事業各分野の担当職員が連携し、継続的・伴走型の相談支援を目指し対応しています。

⑵　地域の相談ステーション「もっともっと」地区別活動内容

① 湯本地区

担　　当　　３名（社会福祉協議会　山崎・杉山　・　地域包括支援Ｃ　井上）

主な取組　　湯本地区社協理事会出席、サロン・フードバンク等地域行事参加、つながり食堂（毎月第１木曜日）への来訪、湯本夢夏祭り参加、地域医療機関との情報交換、

相談件数　　延べ　52 件

② 温泉地区

担　　当　　２名（社会福祉協議会　樋口　・　地域包括支援Ｃ　相川）

主な取組　　個別相談受付、心配ごと相談出席、地域の見守りを兼ねたフードバンク活動参加（大平台あじさいの会協働）、地域のことを話し合う会参加、小涌谷地域リゾートマンションでのサロン開催及び管理組合との連携や相談対応、各種相談会（ふらっと相談会）への参加、地域の民生委員の個別訪問活動に同行

相談件数　　延べ　39 件

③ 宮城野地区

担　　当　　２名（社会福祉協議会　山本　・　地域包括支援Ｃ　竹森）

主な取組　　個別相談受付、地域のことを話し合う会出席、心配ごと相談出席、自治会出席、サロン・フードバンク等地域行事参加、買い物移動支援提案、教育相談支援センターより相談受付

相談件数　　延べ　６件

④ 仙石原地区

担　　当　　２名（社会福祉協議会　栢沼　・　地域包括支援Ｃ　浅原）

主な取組　　個別相談受付、心配ごと相談出席、地域のことを話し合う会出席
コミュニティバスにこにこ号運行支援、にこにこ号を活用したフードバンク活動支援、サロン活動参加、仙石原文化センター祭・防災訓練・星槎大学祭

り等地域行事への参加、

相談件数　　延べ　52 件

⑤ 箱根地区

担　　当　　２名（社会福祉協議会　曽我　・　地域包括支援Ｃ　平嶋）

主な取組　　個別相談受付、心配ごと相談出席、友愛チーム安否確認同行、地域のことを話し合う会出席・サロン（もっともっとふぃっと安堵しゃべり場）等地域行事参加。

相談件数　　延べ　35 件

６．ボランティアセンター活動事業

ボランティアの発掘及び育成とボランティア活動の振興を図るため、各種ボランティア相談や活動の調整の他、活動を展開しているボランティアグループへの助成を行ないました。

箱根町ボランティア連絡協議会の事務局を担い、ボランティアセンター機能の充実とボランティア活動の振興を図りました。

令和 4 年度については新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、計画していた講座は実施を見送りましたが、新たな取り組みとして、小田原市社会福祉協議会と共催による新規講座を開始しました。

(1) ボランティア育成講座『心を育むふくし講座』

ボランティアに興味があるけど何から始めればいいかわからないなど、福祉ボランティアに興味がある方に向けて、「いちから」学ぶ講座を開催しました。

福祉ボランティアのきっかけとして、車いす当事者からの話しや介助方法、実際車いすに乗って町歩き体験を行いました。

【ボランティアいちから講座の様子】

写真

（省略）

〇ボランティアいちから講座

①　車いすについて

日　時　　令和４年 11 月４日　午後１：30　～　３：30

場　所　　おだわら交流センターUMECO 会議室

内　容　　「車いすについて」車いす当事者の講演・介助方法

講　師　　武藤晴美氏、神奈川県西地区リハビリテーション協議会初鹿氏

参加者　　５名

②　車いす体験

日　時　　令和４年 11 月 11 日　午後１：30　～　３：30

場　所　　おだわら交流センターUMECO 会議室

内　容　　「車いす体験」車いすによる町歩き

講　師　　神奈川県西地区リハビリテーション協議会初鹿氏

参加者　　５名

③　発達障害について・振り返り

日　時　　令和４年 11 月 18 日　午後１：30　～　３：30

場　所　　小田原市民交流センターUMECO

内　容　　「発達障害について」かながわＡによる講演

講　師　　神奈川県発達障害支援センターかながわＡ

参加者　　小田原市民５名　箱根町民３名

※例年実施している　児童福祉に関する講座・障がいの理解に関する講座・認知症の理解に関する講座、については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しています。

⑶ 雪かきボランティア

平成 25 年度より実施してきた雪かきボランティア事業については、令和４年度は若年層へのボランティア募集として町内、小田原市内の中・高・大学の生徒へ周知を行いました。

令和４年度は大きな積雪はなく、依頼はありませんでした。

○ 雪かきボランティア

期　　間　令和５年１月４日　～　３月 31 日

対象地域　全町

相談件数　０件

実働件数　０件

ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ登録者　24 名（うち町内 15 名　町外９名）

⑷ 災害ボランティアセンター事業

災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施及び、災害ボランティアセンターの運営として箱根町総合防災訓練へ参加しました。

【設置運営訓練の様子】

写真
（省略）

○ 災害ボランティアセンター設置運営訓練

日　時　令和４年８月 29 日（月）　午前 10：30　～　12：00

場　所　箱根町社会福祉協議会　ピロティー

対象者　箱根町ボランティア連絡協議会　９名
小田原青年会議所　　５名
民生委員児童委員　　１名
本会職員　　11 名　　計 23 名

○ 箱根町総合防災訓練
日　時　令和４年９月６日（火）　午前 10：00　～　午後１：00
場　所　仙石原浄水センター
参加者　会長事務局長及び職員　７名
箱根町ボランティア連絡協議会　７名
小田原青年会議所　４名　　計 18 名

⑸ 出前体験教室
例年実施している点字、手話に関する町内小学校での出前体験講座については、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和４年度は学校からの依頼はありませんでした。

⑹ 福祉教育
福祉教育として新たに防災についての講座を行いました。町の総務防災課と協力し、ＨＵＧカードを用いた防災についての体験型講座を実施しました。
今後も継続して学生等、地域の方を対象に実施していきます。

日　時　令和４年 12 月 12 日（月）　午後１：30　～　３：00
場　所　箱根町役場分庁舎４階会議室
参加者　自治会長　２名、社協評議員１名、民生委員１名（赤十字奉仕団）

⑺ ボランティアグループ活動助成事業
本会登録のボランティアグループのうち、７団体及び箱根町ボランティア連絡協議会へ活動費の補助を行いました。

○ 活動費補助

ボランティアグループ（６団体）	247,000 円
箱根町ボランティア連絡協議会	110,000 円
合　計	357,000 円

⑻ ボランティアセンター寄付金等配分事業
ボランティアセンターに寄せられた寄託金等を、ボランティアセンター運営委員会の配分決定に基づき、社会福祉基金への積立金として配分を行いました。

① 社会福祉基金寄付金

寄付金	2,262,496 円
愛の小箱	320,319 円
合　計	2,582,815 円

② ボランティアセンター寄託物品（6 件）

車両、イベント機材、タオル類、衣類、マスク、介護用品、食品等

※ 寄付金はボランティアセンター活動事業を始めとした地域福祉事業への活用のため基金へ積立てたほか、使途の希望のある寄付金については対象事業の事業費に活用しました。

物品は本会及び、町内福祉施設、幼・保育園、学校等へ配付をおこなったほか、町内の必要とされている方へ配付を行いました。

⑼ ボランティアの発掘と登録の促進・ボランティア活動援護

ボランティア活動の普及啓発活動を継続し、令和４年度末の登録者数は以下のとおりとなっています。

○ ボランティア登録者数　72 名　（令和５年３月 31 日時点）

○ ボランティアグループ数　10 団体（　　〃　　）

ボランティア活動中の個人の事故に備えた「ボランティア活動保険」とボランティア行事全体の参加者の事故に備える「ボランティア行事用保険」の広報周知を行い、安心してボランティア活動やサロン活動が行えるよう支援しました。

７．地域福祉推進事業

新たなサロン設置に向けたアプローチと既存のサロン活動の充実に向けた支援を行いました。各地区社会福祉協議会への助成や事務手続き等、活動の支援を行いました。

また、生活支援コーディネーターと連携し、地域のことを住民の皆さまと話し合い、様々な地域福祉の促進へ向けた取り組みが始まりました。

⑴ サロン活動促進事業

すでに発足し活動しているサロンの運営に関し、助言、保険加入等の支援を行ったほか、活動費補助を行いました。また、新たにサロン活動を展開する地域の活動に参加し、立ち上げ等の活動に対する支援を行ないました。

コロナ対策を実施しながら、通常通りの活動を再開したサロンも多く、現在休止中のサロンも再開へ向け前向きに準備を進めています。

【各サロン活動の様子】

写真

（省略）

① 湯本やまゆり会

開　　催　毎月 10 日前後
場　　所　仲町集会所
参 加 者　約 16 名
参 加 費　１回 100 円
社協支援　活動助言、用具の貸出、
　　年間予定表等文書作成
助 成 金　@4,000×12 カ月＝48,000 円
主な活動　手芸、映画鑑賞、調理、歌、町内外施設の見学等

② 宮城野やまゆり会

開　　催　毎月第３火曜日　第４日曜日
場　　所　箱根町総合保健福祉センター2 階会議室
参 加 者　約 20 名
参 加 費　１回 100 円
社協支援　活動助言、用具の貸出、参加者送迎支援の調整
助 成 金　@4,000×12 カ月＝48,000 円
主な活動　手芸、軽スポーツ、歌、町内散策、グランドゴルフ（不定期）

③ 畑宿おしゃべり会

開　　催　毎月第２水曜日（時期により変動あり）
場　　所　畑宿寄木会館
参 加 者　約７名
参 加 費　１回 100 円から昼食代程度
社協支援　活動助言、用具の貸出、参加者送迎支援の調整
主な活動　お茶飲み、お話、歌

④ 芦ノ湖サロン

開　　催　毎月第３水曜日
場　　所　元箱根集会所
参 加 者　約 20 名
参 加 費　１回 100 円
社協支援　活動助言、用具の貸出、チラシ作成
助 成 金　@4,000×12 回＝48,000 円
主な活動　会食、軽スポーツ、脳トレ、体操、歌

⑤ 大平台リンリン

開　　催　年間４回

場　　所　大平台集会所

参 加 者　約 10 名

参 加 費　１回 100 円から昼食代程度

社協支援　活動助言、用具貸出、チラシ作成

主な活動　食事・調理・歌・軽スポーツ・フードバンク食品配布会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から活動を休止しており、令和 5 年度より活動再開を予定

⑥ チーム糸へん

開　　催　毎週水曜日

場　　所　星槎大学箱根キャンパス

参 加 者　約 10名

参 加 費　無料

社協支援　活動周知

主な活動　手芸、お話、食事会

写真

（省略）

⑦ きんとき寄せ木サロン

開　　催　毎月第４火曜日

場　　所　仙石原いこいの家

参 加 者　約 20 名

参 加 費　１回 200 円

社協支援　活動助言、用具貸出、チラシ作成

主な活動　体操、軽スポーツ、脳トレ、お話等

⑧ わくわく談話室

開　　催　毎月第３火曜日

場　　所　山崎集会所

参 加 者　約 15 名

参 加 費　１回 100 円

社協支援　活動助言、用具貸出、チラシ作成

助 成 金　今年度は活動していない為、申請はありません

主な活動　体操、軽スポーツ、脳トレ、お話当

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、活動を休止しており、令和 5 年度より活動再開を予定

⑨ 仲町麻雀会

開　　催　毎週木曜日
場　　所　仲町集会所
参 加 者　約５名
参 加 費　無料
社協支援　活動助言
主な活動　麻雀、食事会

写真
（省略）

⑩ ソーラン座サロン

開　　催　毎月１回（曜日不定期）
場　　所　山崎集会所
参 加 者　約 12 名
参 加 費　１回100 円
社協支援　活動助言、用具貸出、
助 成 金　@4,000×12 回＝48,000 円
主な活動　軽体操、お話等

⑵ 地区社協活動補助事業

湯本、仙石原、大平台の各地区社協へ活動助成金の申請を支援しました。

湯本地区社会福祉協議会では、地域のたすけあい機能向上のための新規事業として「湯本たすけあいハンカチ」事業に取り組んでおり、令和４年度は事業の趣旨、ハンカチの用途について再検討しました。令和５年度からは「たすけあいハンカチ」事業を、全世帯対象とし、用途を災害時の自身の安否を伝える手段として使用していく事として活動しています。防災訓練の際に訓練として使用してもらうなど、事業の周知を行い、湯本地区で統一した認識を持ち取り組んでいます。

【湯本地区地域に配布しているたすけあいハンカチ】

写真
（省略）

○ 仙石原地区社会福祉協議会　活動助成金　　120,000 円
○ 大平台地区社会福祉協議会　活動助成金　　100,000 円
※湯本地区社協は、令和４年度の助成金申請はありませんでした。

⑶ 地域福祉活動促進

○コミュニティバス「にこにこ号」

生活支援コーディネーター事業により開催している「地域のことを話し合う会」から、住民主体の移送サービスとして、仙石原地区内において、住民ボランティアや関係団体の協力により、地区内の高齢者等、移動に困難を抱えている人が利用できるコミュニティバスの運行が継続されています。

令和４年 11 月からは、新規事業として「家にこもりがちな方」が外に出るきっかけ作り

になることを目的に、第４木曜日の運行に合わせ、移動型のフードバンク活動を併せて実施し、にこにこ号の周知と、フードバンク活動による地域住民の居場所つくりを進めています。

日　時　　毎月第４木曜日　午前 10：00　～　午後２：00
場　所　　仙石原地区内
内　容　　住民ボランティア（運転・添乗）によるコミュニティバスの運行の運行ルート内にて移動型の食糧配付を実施。
利用人数　168 名
（令和４年 11 月～令和５年 ３月末までの延べ人数）

【にこにこ号を活用したフードバンク活動】

写真

（省略）

〇ラリグラスの会

新型コロナ特例貸付をきっかけに、町内に居住している外国籍の方々が、国籍を問わない交流の居場所つくりとして、「ラリグラスの会」を立ち上げ、活動に対する支援をおこないました。

会の活動として、①会を交流のネットワークの拠点とし、②会のラインなど SNS の活用し情報共有や発信などを行い、③AED などの救急法講習や日本語教室、交流会など、日々の生活に必要な企画を実施しました。

学びや集まりの機会を作ることでゆるやかなつながりを作ることを目標とし、今後も様々な国籍の方が参加してもらえるような会となっていくよう参加者と相談し会活動の支援を継続します。

開　催　第４回打ち合わせ　令和４年４月１２日
第５回打ち合わせ　令和４年５月 17 日
第６回打ち合わせ　令和４年６月 15 日
ラン♪ラン♪ランチ（交流会）　令和５年３月 20 日
場　所　星槎大学、箱根町総合保健福祉センターさくら館、箱根町社会福祉協議会
内　容　多国籍の住民の方々の交流の場作り、交流活動の支援

【ラリグラスの会で実施した救急法講座・定例打合せ・ランランランチ　の様子】

写真

（省略）

８．共同募金配分金事業

神奈川県共同募金会箱根町支会として一般（赤い羽根）募金及び年末たすけあい募金を実施するとともに、共同募金配分金を主たる財源とする各種の福祉事業を展開しました。

（1）児童福祉事業

①　はこね社協のはらぺこ救助隊

子どもたちの見守り・つながりの支援を目的として、夏休み期間中の子どもたちへ週に１回（計４回）町内の飲食店のお弁当の配食を実施しました。今回は、配食を受け取った子どもたちに、協力して下さった飲食店向けにメッセージカードの作成を依頼し、協力していただいた各飲食店に寄贈し、子どもたちと地域のつながり作りを意識した活動を行うとともに、継続的な子どもたちの見守り活動として児童委員の協力のもと見守りを実施しました。

応募世帯も年々増えており、地域の飲食店とともに、子どもたちの見守り、子育て世帯の支援が進んでいます。

【腹ぺこ救助隊配布（見守り）の様子】

写真

（省略）

日　時　令和４年８月５日、12 日、19 日、30 日　計４回
対　象　町内在住の子育て世帯　31 世帯　57 名
内　容　見守りを兼ねた町内飲食店のお弁当の無料配食
協　力　田むら銀かつ亭様、強羅伊勢力様（順不同）、めし処いなか家大地様、おぐら屋様

②　企業と連携したはらぺこ救助隊の臨時実施

新たな試みとして、報徳食品センターを通じて、株式会社王将フードサービスが実施している「お子様弁当の無料配布」の協力を得て、対象家庭へ希望を募り配布しました。

【餃子の王将による無料弁当】

写真

（省略）

日　時　令和５年１月６日
対　象　町内在住の子育て世帯　12 世帯 28 食

③　みんなで楽しむ！クリスマスコンサート

新型コロナウイルスの影響により様々な集合型の交流事業が中止となっていた中、感染症流行後、初めての集合形式による障がい児・者支援事業として、「みんなで楽しむ！クリスマスコンサート」を実施ました。

（福）宝安寺社会事業部ほうあん第一しおん、小田原短期大学と共催し、障がいの有無や、性別、年齢、国籍など関係なく「誰もが参加し楽しむことができるコンサート」をテーマに開催しました。

障がいの当事者によるピアノ演奏や短期大学生によるダンスの披露など、障がいや性別、年齢などに関係なく、いろいろな地域の方々がお互いを知りその人の個性を知ってもらう交流の場となりました。

今後もコンサートを通じて、楽しみながらお互いを知り、つながる機会を作っていけるよう継続していきます。

【みんなで楽しむ！クリスマスコンサートの様子】

写真

（省略）

日　時　令和４年 12 月 23 日
場　所　仙石原文化センター　ホール
対　象　町内在住者　34 名（18 世帯）
内　容　クリスマスコンサート
協　力　（社福）宝安寺社会事業部　ほうあん第一しおん様
　　小田原短期大学様

⑵　高齢者福祉事業

○ 敬老祝品贈呈

祝い品　99 歳の方：寄木細工「ミニティッシュケース（亀甲）」
　　100 歳及び２回目以降の方：「ブリザーブドフラワー」

対　象	99 歳	９名
	100 歳以上	10 名
	計	19 名

⑶　障害者福祉事業

○ 絵画ワークショップ＆ミニコンサート

手をつなぐ育成会主催により「ともしび運動」を啓発するとともに、「障害者週間」をＰＲし、知的障がい者への理解を深めることを目的に、障がいのある方々が描いた絵画展示の開催に協力しました。令和 4 年度は、ミニコンサートとワークショップの開催日を分け、２日間実施しました。

日　時　［第１部］絵画ワークショップ
日　時　令和４年 12 月７日（水）　午前９：30　～　午後０：00
講　師　日向野祥子　氏
［第２部］大正琴ミニコンサート
日　時　令和４年 12 月８日（木）　午後０：00　～　０：50
演奏者　福井真澄　氏

場　所　箱根町役場本庁舎住民ホール
対　象　町内在住・在勤の方
参加者　絵画ワークショップ　５名、ミニコンサート　約 20 名

⑷　援護事業

○ はこね社協のはっぴぃとらんぽ

支援の必要な準要保護児童・生徒のいる世帯の中で、配布希望があった世帯に対し、本会職員が子どもの見守りを兼ねた食料支援を行いました。

内　容　町内の準要保護児童・生徒のいる世帯（年末慰問金対象世帯）への月１回の定期的な食料の配布（配達）・子どもや世帯の見守り
回　数　令和４年１月～　毎月１回開催（月１回最終金曜日に配達）
件　数　申し込み世帯　20 件

⑸　年末たすけあい配分金事業

○ 年末慰問金配分事業

年末たすけあい運動で寄せられた募金を、令和４年 12 月に町内小中学生のいる準要援護世帯に年末慰問金として配分しました。配分を通じて子どもたちの見守りや、生活に関する相談等の受付、児童福祉に関する事業への繋ぎなど、継続的なつながりを意識した活動を行っています。

〇配分対象者　36 人（27 世帯）
〇配 分 額　180,000 円

９．日常生活自立支援事業

意志決定能力の低下した方や自立生活を送る上で支援を要する方等に対し、日常生活自立支援事業を中心に福祉サービスの利用援助を行いました。

⑴ 日常生活自立支援事業（令和５年３月 31 日現在）

利用者数	５名	（前年度比　△1）
令和３年度新規契約件数	０件	（前年度比　△1）
終了件数	１件	（前年度比　△1）
従事者　専門員	２名	（前年度比　±0）
生活支援員	１名	（前年度比　±0）
専門員等訪問調査活動	148 回	（前年度比　＋81）
専門員.生活支援員訪問回数	165 回	（前年度比　△34）

① 福祉サービスの利用援助及び日常的金銭管理サービス

要支援者（軽度認知症高齢者、知的障がいのある方、精神障がいのある方、身体障がいのある方等で判断能力が不十分な方）の申請に基づき、介護保険制度などの福祉サービス利用手続きや日常的金銭管理を支援しました。

② 書類預かりサービス

各種証書、通帳、印章などの書類等を金融機関の貸金庫にてお預かりしました。

預かりものの確認のため、年１回の点検を行っています。

③ 契約締結相談

１名の外部相談員により、支援の実施状況の報告や新規相談の際の契約締結判断に関する相談を随時おこないました。

新型コロナウイルス感染症のため訪問が困難となった場合も利用者、神奈川県社会福祉協議会、外部相談員、関係機関とも連携し日常生活に影響が無いよう柔軟な対応を行っています。

１０．資金貸付事業

神奈川県社会福祉協議会の委託事業である生活福祉資金貸付事業と、本会独自の事業であるたすけあい資金貸付事業を実施しました。

また、令和４年度も、令和４年９月末にて申請期間が終了した新型コロナウイルス感染症の影響に伴う臨時の特例貸付事業（緊急小口資金・総合支援資金）の相談窓口及び申請事務を行い

ました。特例貸付に関しては、申請受付が終了した後も償還に関する免除や猶予、その後の生活に関する相談を受け付けています。

資金貸付事業では、生活費に関わる相談をきっかけとし、資金の貸付だけではなく、生活にかかわる手続きの同行や食料等の支援など、相談者の生活の自立を意識した伴走的な相談対応を実施しました。常に状況が変わる中、相談者の相談内容や置かれた状況により柔軟な相談対応を行い、生活困窮者自立支援制度に基づく相談機関等、様々な機関と連携し相談者を中心とした支援を行いました。

また、これらの特例貸付の相談での住民の困窮状況を踏まえ、“ゴンとお母さんからのおすそわけ”、“フードドライブ事業”として食料支援に関わる事業を継続して実施しています。

⑴ 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

期　　間　随時
対　　象　町内在住者
貸付件数　１件
　　内訳：緊急小口資金　１件　計１件
貸付決定額　15,000 円
　　内訳：緊急小口資金　１件　計１件

⑵ 新型コロナウイルス感染症にかかわる特例貸付事業

期　　間　随時
対　　象　新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した町内に居住実態のある在住者
相談件数　114 件（他制度における支援対象となった相談を含む）

新型コロナウイルス感染症に関する特例貸付は令和４年９月末で申請受付を終了しました。

新型コロナウイルス感染症に関する貸付相談では、相談件数自体は減少しましたが、貸付後の生活に関する困りごとなど、相談を継続している世帯が多くなっています。

特例貸付や他制度で生計を維持されてきた世帯が、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、生計維持が困難となるケースが増えており、小田原保健福祉事務所等と連携し、生活保護申請等に関する相談も増えています。

今後も生活困窮に関わる関係機関（自立相談支援機関「ほっとステーション小田原」等）と連携し、相談者に伴走する支援を継続します。

⑶ たすけあい資金貸付事業

期　　間　随時
対　　象　町内在住６ヶ月以上で他に援助が受けられず、民生委員が認めた世帯
貸 付 件 数　０件（前年度比　±０）

貸 付 金 額　０円
償 還 指 導　個別対応

箱根町社会福祉協議会の独自の貸付制度です。（貸付上限額 60,000 円）
県社協より受託している生活福祉資金貸付事業や他制度の要件に当てはまらない世帯に対し、一時的な貸付を行うことで、生活の自立が見込める世帯を対象としています。
相談者の生活状況を聞きとり、他制度の利用も含めた様々な方法で相談者への支援を継続します。（令和５年度貸付実績なし）

⑷ ゴンとお母さんからのおすそわけ （臨時食料支援事業）
期　　間　随時
対　　象　新型コロナウイルス感染拡大の影響により減収した世帯 等
支 援 件 数　61 件（前年度比　-7 件）
協 力 団 体　NPO 法人報徳食品支援センター様、セブンイレブンジャパン様、神奈川県共同募金会様

支援件数は前年度と比較しほぼ横ばいとなっています。長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により継続して減収や失業などで収入や生活状況に苦慮している世帯が多いことがうかがえます。
今後も金銭の貸付に限らない困窮支援の方法として協力団体と連携し、食料支援に関する事業を継続します。

⑸ フードドライブ事業
期　　間　随時
寄付件数　８件

食料支援の一環として、食料品の寄付を募り、必要としている世帯や団体に配布しました。
食料品の寄付を募り、配付することでフードロス削減となり、寄付され食料は「ゴンとお母さんからのおすそわけ」事業の安定的な食料品につなげています。

１１．地域活動支援センター事業

箱根町からの受託事業として、地域の障がいがある方の為の支援対策として箱根町地域活動支援センター『レインボー』を運営しました。
（施設長１名、支援員２名　活動時間　月～金　午前９：00～午後５：00）

⑴ 利用者数（令和５年３月 31 日現在）

利用者は、知的障がい者４名、精神障がい者２名の計６名となっています。年間新規相談件数は３件となっています。

【月別延べ利用者推移】　（単位：人）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
合計数	47	39	54	48	46	44	56	49	49	49	52	59	592
前年度比	＋16	＋14	＋16	＋5	＋13	＋2	＋11	-1	＋8	＋11	＋20	＋7	＋122

利用者数は年々増え、令和４年度は１名増となっています。施設の周知活動を積極的に行い、社会福祉協議会の福祉総合相談と連携を図ることにより、徐々に利用者が増え活気のある施設になってきました。今後も必要な方に必要なサービスが提供できるよう努めていきます。

令和４年度は、コロナ禍でのあらたな活動・参加として、月１回のドライブや行楽、美化清掃活動を通じた地域との交流機会の確保など、感染症に配慮した新しい取り組みを多く取り入れ、ご利用者への支援内容の充実化を図りました。植物や食物の栽培（しいたけ等）も取り入れ、施設での作業であっても多種多様な活動を取り入れることでご利用者の生活の自立に向けた支援を行っています。

⑵ 活動内容

内　容　菓子箱折り
　　刺し子雑巾・ちぎり絵・紙すきはがきの作成
　　その他作品販売（アクセサリー、巾着等）
　　古紙リサイクル等
場　所　地域活動支援センターレインボー
　　箱根町役場
　　宮城野出張所　他
収　益　作業収入合計額　　238,716 円

【施設での販売品】

写真

（省略）

⑶ 行事・イベント参加

① さくら館健康ミニフェスタ

日　時　１回目　令和４年９月２９日（木）　午前　９：30　～　午後０：30
　　２回目　令和４年 12 月７日（水）　午後　１：00　～　４：00
場　所　箱根町総合保健福祉センターさくら館
参加者　１回目　利用者２名、本会職員
　　２回目　利用者３名、本会職員
内　容　小物販売・健康福祉に関するイベント体験

② 第６１回箱根町民文化祭

日　時　令和４年 11 月 11 日（金）～13 日（日）

場　所　箱根町社会教育センター

参加者　利用者４名、本会職員

内　容　販売作品の展示

③ 避難訓練（箱根町総合保健福祉センターさくら館にて実施）

日　時　令和４年6月 13 日（月）　午後　１：00　～　１：30

場　所　箱根町総合保健福祉センターさくら館

参加者　利用者３名、本会職員

内　容　火災を想定した避難訓練

④ 秋祭り行事

日　時　令和４年 10 月 20 日（木）　午後１：00　～2：30

場　所　はこね社協サービスセンターデイサービス

参加者　利用３名、本会職員

内　容　デイサービスでの祭り行事への参加・施設間交流

⑤ はこねっこマルシェ販売

日　時　令和４年 10 月 23 日（日）　午前 10：00　～午後３：00

場　所　星槎大学箱根キャンパス

参加者　本会職員

内　容　刺し子雑巾他の販売、地域行事への参加交流機会の確保

【レクレーション・外出・ボランティア活動の様子】

写真

（省略）

⑥ 各種レクレーション

日　時　随時

場　所　地域活動支援センターレインボー

参加者　利用者３名、本会職員

内　容　イチゴパーティー,そうめんパーティー

⑦ ボランティア活動（町内美化清掃）

日　時　毎週水曜日

場　所　箱根町内（主に宮城野地域）

参加者　利用者５名、本会職員

⑧ 各種外出行事

○日　時　令和４年５月30日(月)　午後１：００　～　３：００
　場　所　三島スカイウォーク
　参加者　利用者３名、本会職員

○日　時　令和４年６月23日（木）　午後１：００　～　３：００
　場　所　箱根登山鉄道（強羅～湯本）、湯本駅前散策
　参加者　利用者３名、本会職員

○日　時　令和４年９月22日（木）　午前 10：30　～　午後３：００
　場　所　御殿場アウトレット散策
　参加者　利用者３名、本会職員

○日　時　令和４年11月24日（木）　午後０：30　～　３：００
　場　所　マクドナルドで食事、ドライブ
　参加者　利用者３名、本会職員

○日　時　令和５年１月19日(木)　午前 10：00　～　午後３：００
　場　所　御殿場ダイソー、はま寿司、えびせん工場見学
　参加者　利用者３名、本会職員

○日　時　令和５年３月30日（木）　午後１：００　～　３：００
　場　所　花見、マクドナルドでお茶、ドライブ
　参加者　利用者３名、本会職員

１２．生活支援コーディネーター事業

(1) 生活支援サービスの調査及び新規開発について

引き続き町内の各地で推進してきた「地域のことを話し合う会」を町内 5 地区で概ね 2 か月に 1 度開催をしています。

地域のことを話し合う会は、参加する様々な世代や属性の方と本会が意見交換するきっかけとなるほか、各地区で異なる“地域に必要なこと”“地域でできること”に関しての情報共有の場となっています。

新規開発として、箱根地区では、箱根長寿会友愛チームが主体となり、地域のパン屋の協力のもと、出張販売の集いの場が開かれています。自分の目で見て、選ぶ楽しさを感じてもらい、食を通して外に出るきっかけを作りたいという思いから始まった事業ですが、パンを販売することに限らず、地域の方同士の交流の場を構築し、そこからたすけあいの輪が広がることを目的として活動しています。回を重ねるごとに、利用される方や友愛チームの意見

を取り入れ、NPO 報徳食品支援センターと連携し、お惣菜販売やフードバンク活動も同時実施するなど、集いの場はさらに広まっています。

更に、地域での顔の見える関係づくりを目標に、「ラジオ体操」が 10 月末から毎週木曜日に開始されています。今後は、多様・多世代の方々が参加ができる場を目指し、生活支援コーディーネーターとして活動支援を行っていきます。

【箱根地区ラジオ体操(集いの場)の様子】　　【出張販売による参加者の交流の様子】

写真

（省略）

コロナ禍が長引き、外に出ることが億劫になっている方が多い中、“地域に必要なこと”“地域でできること”を地域住民と共に考えて行きます。

⑵ 生活支援サービスの活動支援及び利用支援のコーディネートについて

① 大平台あじさいの会に関する活動支援

生活支援サービスは定期的な依頼のもと実施されています。活動内容の把握や打ち合わせへの継続的な参加をおこなったほか、大平台あじさいの会によるNPO 報徳食品支援センターを介し、「見回り訪問＆食料配付」がおこなわれています。

② 利用支援のコーディネート

町内在住の難病をお持ちの方が、聴覚を失う前に「手話」を覚えたいとの相談から以前活動をされていた手話サークルの方へ繋ぎ、週に 1 回習われています。

その他地域の生活支援活動として、外国籍の方の「引っ越し」支援を、地域のボランティアへ繋ぎました。

⑶ 町内のサロン活動支援について

感染症流行後、サロンの再開を楽しみにされている方も多く、“地域の集いの場”として住民に定着しているサロンが継続できるよう、感染予防を行い活動が再開されています。

現在休止中のサロンについては、再開に向けて必要な助言等を行っています。

⑷ 町内福祉関係団体とのネットワーク形成について

令和３年度から開始された「コミュニティバスにこにこ号」は、高齢者を中心とした多くの住民の買い物や通院といった日常的な交通手段となっています。にこにこ号の運転ボランティアには仙石原地区内の福祉施設（デンマークイン箱根・アレンジメントケア箱根仙石原）にもご協力をいただき、話し合う会にも参加してもらうなど、福祉関係団体と地域のネットワーク形成は継続しています。

○コミュニティバスにこにこ号

日　時　　毎週木曜日　午前 10：00　～　午後２：00

場　所　　仙石原地区内

内　容　　住民ボランティア（運転・添乗）によるコミュニティバスの運行

利用人数　712 名（令和４年４月～令和５年３月末までの延べ人数）

⑸ 新規生活支援ボランティアの発掘・育成について

町内への転入を考えている町外住民の方など、町内外問わずボランティアの発掘育成を行っています。現在、送迎ボランティアの担い手として、サロンの送迎支援等、活動の支援に関するボランティア行っていただいています。

また、町内へ転入された方から、地域の方のためにボランティア活動を行いたいとの相談を受け付け、湯本地区の「繋がり食堂」、仙石原の「コミュニティバスにこにこ号」のボランティアとして活動していただいています。

今後も、町内在住の住民の方に限らず、町内外また転入された住民の方など新たなつながりを積極的に作り、ボランティアの発掘・育成を行っていきます。

１３．基金運営事業

⑴ 社会福祉基金の積立

寄付金及び預金利息の一部を社会福祉基金として積み立て、適正な基金運営を行いました。

新規積立額　社会福祉基金　2,583,420 円

⑵ 基金現在高

社会福祉基金　　22,128,696 円（前年度末　19,545,276 円）

介護事業積立金　　9,617,000 円（前年度末　9,617,000 円）

ボランティア積立金　　906,951 円（前年度末　　906,951 円）

１４．居宅介護支援事業

⑴ 居宅介護支援事業

はこね社協サービスセンター（居宅介護支援事業所）として要介護認定を受けられている

方に対し、介護保険法に基づく居宅介護支援事業を主任介護支援専門員１名により行いました。現在、介護支援専門員が不足する町内において、安定したサービス提供が行えるよう、各関係機関と連携し引き続き事業を進めてまいります。

【月別・要介護度別延べ利用者推移】　（単位：人）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
介1	21	19	18	18	19	21	23	25	24	24	23	22	257
介2	13	14	14	13	12	11	10	10	9	9	10	11	136
介3	6	6	6	6	5	6	7	7	8	6	4	5	72
介4	2	1	2	1	2	1	2	2	2	3	2	1	21
介5	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	4
合計数	42	40	40	38	39	40	42	44	43	42	39	41	490
前年度比	2	1	2	△1	0	△1	1	4	2	3	1	2	16

※ケアマネジャー1 名当たりの受け入れ上限　45 件

⑵ 介護予防支援事業

要介護認定の町民の方々を中心に支援を行ったため、令和４年度は介護予防支援事業の実施はありませんでした。

⑶ 認定調査等

要介護認定申請を受けて実施される要介護認定調査について、他市区町村からの依頼に基づき、本会介護支援専門員により調査を受託実施しました。

【認定調査受託市区町村】

湯河原町、二宮町、大磯町、秦野市、東京都世田谷区、品川区、杉並区、江東区、荒川区、狛江市、青梅市、昭島市、静岡県沼津市　　計 17 件(複数回実施市町村あり)

１５．訪問介護事業

はこね社協サービスセンター訪問介護事業所として介護保険法に基づく訪問介護及び介護予防訪問介護を管理者１名、サービス提供責任者２名のもと非常勤５名のホームヘルパーにより行いました。（令和５年３月 31 日現在）

【月別・要介護度別延べ利用者推移】　（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支1	14	17	17	20	15	18	13	15	13	11	7	10	170
支2	40	41	54	41	50	39	42	47	49	50	50	53	556
事業対象	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介1	114	103	100	83	97	94	98	90	84	70	63	71	1,067
介2	53	56	49	48	55	48	46	54	43	36	44	47	579
介3	52	50	45	50	22	54	57	53	44	49	50	72	598
介4	4	3	7	4	4	4	4	5	4	4	4	0	47
介5	53	44	55	44	62	60	60	43	59	54	53	61	648
合計数	330	314	327	290	305	317	320	307	296	274	271	314	3,665
前年度比	-5	+21	-45	-65	-39	-17	-47	-40	-33	-13	+5	-20	-298

介護保険法に基づき要介護者及び要支援者に対し、訪問介護サービスを提供し、個々の能力に応じて自立した日常生活が営めるよう努めました。また、利用者の人権を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービス提供に努めました。

令和４年度も、前年度同様に厳重な感染予防対策を行いながら事業を継続しています。職員数の減少等に伴い、訪問件数が若干減少となりましたが、住民ニーズに応じて可能な限り受け入れを実施しています。また、介護認定が３以上のご利用者については施設入所をされる方が多かったほか、独居で生活されているご利用者が不安を感じご家族の住む地域に移住されるケース等も見受けられました。

今後も住民のニーズを優先し利用者に寄り添ったサービスが提供できるよう運営を行っていきます。

１６．障害者居宅介護事業

はこね社協サービスセンター居宅介護事業所として障害者総合支援法に基づく居宅介護をホームヘルパーにより行いました。（令和５年３月31日現在）

【月別延べ利用者推移】　（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計数	4	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	28
前年度比	0	0	-2	-2	-2	-2	-2	-2	-2	-2	-2	-2	-20

17. 通所介護事業

介護保険法に基づく地域密着型通所介護、総合事業（通所型サービス）を、定員 10 名に対し、管理者１名・生活相談員３名・介護職員 6 名・機能訓練指導員１名（箱根リハビリテーション病院より派遣）により行いました。（令和５年３月 31 日現在）

「１人１人が主役になれるデイサービス」をモットーに、通所が楽しくなるよう、利用者様の得意分野や趣味を生かしたレクリエーションの提供を心がけ運営を行いました。送迎時の検温、手や物品の消毒、マスク着用など新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、通常通りの受け入れを行いました。

また、感染症対策を行いながら、ボランティアによる踊りの披露など、感染症流行後の活動を少しずつ再開しています。

【月別・要介護度別延べ利用者推移】　（単位：人）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
支1	19	11	23	17	21	26	18	14	18	17	16	18	218
支2	12	10	14	11	14	12	14	13	16	19	17	23	175
介1	117	111	122	104	122	112	111	111	108	96	82	95	1,291
介2	38	34	43	27	37	33	35	25	28	33	34	47	414
介3	10	11	11	11	11	6	8	4	8	12	11	13	116
介4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
合計数	196	177	213	170	205	189	186	167	178	177	160	200	2,218
前年度比	△2	12	12	△25	△8	△9	△1	△29	10	△1	△4	△8	△53
利用平均	9.3	9.3	9.6	8.0	9.0	9.0	8.8	8.0	8.9	8.9	8.5	8.6	8.8

【行事・会議】

（1）秋祭り

全体で集まる大型のお祭りの開催は中止し、各曜日の利用者様にご参加いただけるよう、日々のレクリエーションの中で秋祭りを開催しました。利用者様にもご協力いただき、浴衣を体の不自由な方でも楽しめる甚平にリメイクして、賑やかな開催となりました。

【デイサービス秋祭りの様子】

写真

（省略）

⑵ 避難訓練

日　時　令和４年 10 月 24 日（月）～11 月２日（水）間で全４日間
午後２：00～

場　所　デイサービス居室、箱根町社会福祉協議会玄関ホール

参加者　利用者延べ 36 名、デイ職員４名、ボランティア１名

内　容　・地震発生時の安全確保
・玄関への避難行動
・自宅での防災について意見交換
・非常食の試食会

円滑な避難行動と、余震の危険性を考え、利用者様全員に車イスに乗っていただき、職員が玄関まで誘導しました。日中、事務所の職員は訪問に出ることが多いため、少数の職員で対応できるよう訓練を行いました。また、箱根温泉旅館ホテル共同組合からアルファ米のご寄付をいただき、非常食の試食会を開催し、味つけや噛みやすさ・食べやすさの確認を行いました。

【避難訓練（誘導時）の様子】

写真

（省略）

⑶ 運営推進会議

デイサービスの運営を地域に根差し、利用者様やご家族によりご利用しやすいサービスにするため、行事や利用状況の報告・意見交換を行いました。

① 第１回

日　時　書面会議（令和４年 12 月配布）

内　容　・活動報告　・アンケート

② 第２回

日　時　令和５年３月 23 日（木）　午後１：00　～　２：00

場　所　社会福祉協議会　役員室

内　容　・活動報告　・事故報告　・アンケート結果報告　・意見交換

対象者　利用者家族、民生委員、箱根町福祉課、ケアマネジャー、
地域包括支援センター、本会職員

⑷ その他レクリエーション等

焼きいも大会、クリスマス会などボランティアの方々にご協力いただき、利用者様の特技を活かしたレクリエーションを実施しました。

【各種レクレーションの様子】

写真

（省略）

１８．地域包括支援センター事業

町からの受託事業として看護師（1 名）、社会福祉士（2 名）、主任介護支援専門員（1 名）、介護支援専門員（1 名）の４職種計５名により、地域包括支援センターを運営しました。

Ⅰ　総合相談

⑴ 総合相談支援

高齢者の日常生活や保健・医療・福祉に関することなど、総合的な相談窓口として開設し、電話や訪問、来所などによる相談対応にあたり、各地区で行われた心配ごと相談等にも参加し情報収集に努めました。

令和４年度後半からは、「民生委員児童委員とのケース検討会」を開始し、民生委員が対象としている世帯の把握のほか、ケース検討を通じて職員が地域を知り、民生委員には制度やサービスなどの相談対応に理解をいただけるよう努めています。

【相談内容・件数及び相談経路】

介護に関すること	224 件
権利擁護に関すること	17 件
ケアマネジメント支援に関すること	5件
その他	94 件
合　計	340 件

家族・親戚	31.2%
行政機関	18.8%
ｹｱﾏﾈｼﾞｬｰ	2.4%
医療機関	13.8%
本人	14.4%
民生委員	7.4%
知人	3.2%
サービス事業所	3.5%
その他	5.3%

【民生委員とのケース検討会】

開催日	地　域	内　容	参加者数
10月5日	湯　本	介護保険サービス利用が過多になっているケース	9人
10月18日	温　泉	高齢者虐待が疑われるケース他	8人
11月1日	箱　根	介護サービス利用の拒否があるケース	6人
12月12日	宮城野	介護サービス導入により地域とのつながりが断たれたケース	10人
12月13日	仙石原	高齢者が自宅で倒れ近所の友人が発見したケース	10人
1月17日	温　泉	介護サービス導入により地域とのつながりが断たれたケース	8人
2月2日	湯　本	土地売買により高齢者の住む集合住宅が孤立したケース	8人
2月7日	箱　根	介護サービス導入により地域とのつながりが断たれたケース	7人
2月13日	宮城野	箱根町内に住民登録がない方への対応	8人
3月14日	仙石原	集合住宅でのご近所トラブル	10人

⑵ センターの周知活動

パンフレットの回覧及び関連機関への設置や町の事業を通じて周知するとともに、社会福

祉協議会広報誌やホームページへ情報を掲載しました。当センターのＰＲカードを、今までの設置場所に加え、町内の医療機関や介護保険施設、薬局等に設置を行いました。

地域包括支援センターの電話番号等を記載したマグネットシートを作成し、民生委員や相談者等、広く住民へ配布しました。その他、当センター主催の住民を対象とした介護予防運動教室や相談会などを開催し、センターの周知を図りました。

⑶ 社会資源の実態把握・ネットワーク構築

課題を抱えた高齢者が、様々な社会資源をより効率的に活用できるよう、圏域における社会資源調査を実施し、高齢者への支援体制を把握しました。さらに調査の結果は「みんなの便利帖（冊子）」にまとめ、住民へ全戸配布しました。また、社会福祉協議会のホームページに掲載している高齢者等社会資源ネットワーク一覧については、最新の情報に更新しました。

⑷ ふらっと相談会・お年寄りの１日電話よろず相談の実施

高齢者の困りごとや、高齢者の介護に関する悩みなどを地域ケア会議につなげ解決を図るため、ふらっと相談会を町内各地区で開催しました。相談会をより身近なものに感じていただけるよう、前期は福祉課の家族介護教室や一時救命教室・フレイル予防講座を併せて開催し、後期は箱根町福祉課の実施する運動教室も併催し、講座への参加者からも気軽に相談が受けられるよう工夫しました。

また、令和４年度もお年寄りの１日電話よろず相談を実施し、相談窓口を多く持つことで幅広く総合相談を受け付けました。

【ふらっと相談会】

開催日	場　所	相談者数
６月29日	仙石原文化センター	２人
７月19日	さくら館	３人
８月25日	山崎集会所	２人
９月９日	社会教育センター	０人
９月28日	元箱根集会所	０人
10月27日	仙石原文化センター	２人
11月25日	やまなみ荘	０人
12月９日	箱根集会所	０人
１月18日	大平台集会所	１人
２月22日	仲町集会所	１人

【お年寄りの１日電話よろず相談】

開催日	相談者数
５月２日	２人
７月１日	２人
９月１日	２人
11月１日	１人
１月４日	２人

⑸ 地域ケア会議の実施

高齢者が安心して地域で生活できるよう、個々の高齢者の多様なニーズへの対応と、保健、福祉、医療、介護等のサービスや社会資源の調整、推進を目的とする地域ケア会議を６回実施し、うち１回は新たに「介護予防のための地域ケア個別会議」として実施しました。

令和４年10月18日の宮城野地区での地域ケア会議では、認知症高齢者への支援をテーマとし、初めてとなる当事者家族の参加による開催となりました。

【各地域の地域ケア会議の様子】

写真

（省略）

会議の中では、認知症当事者への支援について検討をおこないましたが、出席した住民から「認知症の方を支えられる地域について考えたい」との意向があり、同会議に参加した住民を中心に「認知症を起点に地域を考える話し合い」が継続しています。

【地域ケア会議】

開催日	地　域	場　所	参加者数
６月28日	仙石原	宮城野出張所	17人
８月26日	宮城野	社会教育センター	17人
10月18日	宮城野	宮城野出張所	14人
12月15日	湯　本	箱根町社会福祉協議会	14人
２月13日	湯　本	箱根町社会福祉協議会 ※介護予防のための地域ケア個別会議	９人

２月22日	箱根	元箱根集会所	15人

【地域ケア全体会議】

日　時　令和５年３月17日（金）

参加者　17名

町内で開催してきた地域ケア会議を通し、把握された地域課題の解決のために必要な地域包括ケアシステムの構築に向け、地域ケア全体会議として意見交換を行いました。

Ⅱ　権利擁護

⑴ 高齢者虐待の防止・早期発見

- 対応件数　　４　件

虐待の相談機関として広報誌などを通して地域住民への周知を行ったほか、日常から関係各機関・各団体と連携を図ることで虐待の早期発見、防止に努めました。

⑵ 成年後見制度利用支援・日常生活自立支援制度

- 成年後見制度　対応件数　15件　（うち町長申立要請　４　件）

判断能力の低下により権利侵害に至る恐れのある高齢者に対し、制度の紹介や、町長申立てに伴う要請書の作成、親族との連絡調整や診断書作成のための受診同行など、成年後見制度の利用支援を行いました。

前年比10件増となっており、対応件数は増加しています。本会で実施する日常生活自立支援事業から成年後見につながったケースが１件ありました。

⑶ 認知症高齢者等への対応

認知症高齢者、特に独居生活者の場合は複数の課題を重複して抱えている場合が多く、必要に応じて民生委員や福祉機関、医療機関、行政などと連携をしながら支援を行いました。

また、近年認知症についての住民の関心も高く、認知症に関する知識と理解を深めることを目的に、認知症サポーター養成講座を実施しました。

１市３町の関係機関により認知症に対する普及啓発活動を行う「認知症をにんちしよう会」の活動では、会の構成員として普及啓発のためのイベントに参加し、普及啓発のためのイベントに参加しました。

令和４年度は、認知症をにんちしよう会において「認知症と観光」をテーマにした動画制作を行い、かながわオレンジ大使（認知症本人大使）やオレンジチューターの協力を得て、「思い出をつくろう！～認知症は怖くない～」と題した動画を作成し、同会のYouTubeチャンネルで公開しました。

そのほか、令和４年11月からは小涌谷の喫茶店の協力を得て、町内初となる「認知症カフェ：通称 キャロットカフェ」を月１回開催しています。

【認知症サポーター養成講座概要とその様子】

開催日	対　象	参加者数
２月７日･8 日	箱根町役場職員	43 人
２月 21 日	フジタマンション サロン参加者と地域住民	６人

写真

（省略）

【認知症関連事業とその様子】

開催日時	内　容	参加者数
１月 20 日	おだわら・はこね家族会 （湯本富士屋ホテル開催）	33 人
３月 27 日	箱根町民生委員児童委員町内研修会 講義「認知症について」	

【キャロットカフェ（認知症カフェ）とその様子】

開催日時	内　容	参加者数
11 月 18 日	認知症に関する交流会 来店者への声掛け	１人
12 月 16 日		３人
１月 20 日	認知症に関する交流会	０人
２月 17 日	認知症に関する交流会 フレンドシップカフェ打ち合わせ	５名

⑷ 行政書士による高齢者無料相談会

町内在住の高齢者やその家族を対象に「成年後見」「遺言」「相続」等に関連した悩みについて、専門家に無料で相談できる機会の提供として、一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター神奈川県支部小田原西地区と共催で無料相談会を実施しました。

終活に関しての認知度や意識が高まっていることもあり、相談件数は年々増加傾向にあります。

【行政書士による高齢者無料相談会】

開催日	場　所	件　数	参加者数
４月28日	さくら館	２件	２人
５月16日	箱根町役場分庁舎	３件	４人
６月９日	仙石原文化センター	３件	３人
７月11日	さくら館	２件	３人
10月13日	仙石原文化センター	６件	９人
11月７日	箱根町役場分庁舎	２件	２人
12月15日	さくら館	４件	７人
３月27日	箱根町役場本庁舎	４件	５人

Ⅲ　介護予防ケアマネジメント

⑴ 地域支援事業における介護予防活動の実施

運動機能が落ちてきているなど予防事業が必要な高齢者に対して訪問やアセスメントを実施し、町主催の介護予防教室へつなげる等必要な助言を行い介護予防に努めました。

⑵ 予防給付に関する介護予防ケアマネジメントの実施

介護保険における要支援認定者に対してアセスメントを実施し、必要に応じて介護予防ケアマネジメントを行い、介護予防サービス（介護保険）の利用や民生委員による見守り、地域のサロン活動への参加など、様々な社会資源の活用や、助言等により介護予防に努めました。

【平成30～令和４年度 介護予防サービス･総合事業延べ利用者数】

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
要支援１	708人	591人	531人	540人	562人
要支援２	642人	672人	661人	701人	673人
事業対象者	３人	22人	17人	11人	12人
合　　計	1,350人	1285人	1,209人	1,252人	1,247人
月平均人数	112.5人	107.0人	100.75人	104.33人	103.92人
前年度比	+29.93%	-4.81%	−5.91%	+3.56%	−0.004%

【平成 30～令和 4 年度 要支援認定者数推移】

	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
要支援 1	85 人	77 人	73 人	100 人	85 人
要支援 2	91 人	84 人	88 人	92 人	98 人
合　　計	176 人	161 人	161 人	192 人	183 人
前年度比	+44.26%	+44.26%	±0%	+19.25%	-4.7%

⑶ 介護予防の普及・啓発

日常的な相談において介護予防に関する助言等を行ったほか、地域住民を対象とした介護予防講習会の開催や、コロナ禍における熱中症・フレイル予防や感染対策を啓発するための高齢世帯への個別訪問およびチラシやマスクの配布を行い、介護予防の普及・啓発に取り組みました。

外出の機会が減っている方が多く、自宅で身体を動かしたいという意見もあり「簡単運動教室」を開催し、介護予防の普及、啓発に務めました。令和 4 年度からは「介護予防の必要性を住民に広める」ことを目的に、住民が独自で開催している体操・運動教室へ担当職員を派遣しました。

また、令和 3 年度より実施している「シニアスマホ教室」は毎回好評をいただいており、参加希望も多いことから各地区ごとに開催しています。令和 5 年度も継続し、高齢者の生活の利便性向上のほか、新たなつながりの構築となるよう実施していきます。

【介護予防講習会の概要】

開催日	場　所	内　　容	参加者数
5 月 23 日	箱根関所　恩賜公園	まち歩き 公園や史跡の散策	4 人
10 月 13 日	湯本地区内		2 人
10 月 27 日	仙石原文化センター	簡単運動教室	6 人
11 月 25 日	やまなみ荘		10 人
12 月 9 日	箱根集会所		13 人
1 月 18 日	大平台集会所		1 人
2 月 22 日	仲町集会所		13 人

【シニアスマホ教室】

開催日	場　所	内　　容	参加者数
5 月 27 日	社会教育センター	音声検索・動画市町・アプリダウンロード・スマホを利用した詐欺について	10 人
6 月 6 日	箱根町役場本庁舎		7 人

６月13日	郷土資料館学習室	の注意など	９人
７月20日	さくら館		８人
７月26日	仙石原文化センター		２人
10月19日	さくら館	LINE の使い方講座	９人
11月11日	元箱根集会所	音声検索・動画市町・アプリダウンロード・スマホを利用した詐欺についての注意など	７人
12月16日	仙石原文化センター		８人
１月11日	社会教育センター		９人
１月19日	さくら館		９人
２月10日	箱根町役場本庁舎	※積雪のため中止	―

【介護予防教室(まち歩き･スマホ教室)の様子】

写真

（省略）

Ⅳ　包括的・継続的ケアマネジメント支援事業（介護支援専門員への支援）

⑴ 介護支援専門員のネットワーク構築、日常的個別指導・相談

日常的な相談に応じるほか、新たな介護支援専門員支援事業として介護予防訪問アドバイス事業を実施するなど、介護支援専門員の資質向上に向けた支援を行いました。

⑵ 支援困難事例等への側面支援

支援困難事例を抱える介護支援専門員に対して、具体的な支援策を検討し助言等の支援を行いました。今年度も、事例に対しての支援を行うとともに、事例を通じてネットワークの構築、介護支援専門員の実践力向上に向けたサポートを行いました。

⑶ はこねケアマネの会への参加

所属する介護支援専門員を対象に、資質向上や各機関との連携強化、地域ケア会議の報告、及び介護支援専門員との意見交換を行いました。ケアマネジメント業務での支援方法や地域資源の活用などの実務上の具体的な情報交換がなされました。

【はこねケアマネの会概要】

開催日	場　所	内　　容	参加者数
６月15日	さくら館	•令和３年度事業報告及び令和４年度事業計画（案）について ・会長及び副会長の専任　・町内事業所の理解	10人
２月14日	ZOOM会議	・居宅介護支援事業所の現状 ・地域ケア会議の報告 ・地域包括ケアシステムについて	７人

Ⅴ　その他

〇学生を対象とした福祉教育

開催日	場　所	内　　容	参加者数
２月27日	箱根中学校	中学３年生を対象とした福祉教育 「認知症について」 ※認知症サポーター養成講座	49人

〇各介護保険事業所運営推進会議への参加

開催日	場　所	内　　容	参加者数
12月20日	書面回答	ハートフルデイサービス安養 令和４年度第１回運営推進会議	９名
12月27日	書面回答	はこね社協サービスセンター通所介護 令和４年度第１回運営推進会議	40名

〇職員のスキルアップ

地域包括支援センターの業務に必要な知識や技術の習得を目的とした各連絡会や研修会へ参加しました。

- 二宮町地域包括支援センターとの交流、会議の視察
- 脳卒中カンファレンス
- 多職種共同研修
- ケアプラン点検研修
- 「社協の総合相談」を進めるための関連研修
- 地域包括支援センター職員等養成研修
- チームオレンジコーディネーター等研修
- チームオレンジシンポジウム
- 認知症地域支援推進員研修

・若年性認知症を考える会フレンドシップカフェ
・認知症初期集中チーム員研修
・認知症の理解と援助
・共に生きる～認知症を考えるセミナー～
・足柄上地区権利擁護ネットワーク連絡会グループワーク
・ゲートキーパー養成講座
・成年後見制度利用促進体制整備研修
・成年後見国研修都道府県担当職員・アドバイザー向け研修
・高齢者を対象とする弁護士照会制度に関するセミナー
・社会福祉士の教育実習指導者講習
・地域福祉ネットワーク実践力養成講座
・居住支援コーディネーター育成事業講演会

神奈川県共同募金会箱根町支会

神奈川県共同募金会箱根町支会として一般（赤い羽根）募金及び年末たすけあい募金を実施しました。その他、各地域で発生した災害に関する災害義援金活動を実施しました。

令和 4 年度は令和元年度以降実施を見送っていた街頭募金活動も一部制限がある中再開することができ、各学校等でも募金活動が盛んにおこなわれ、感染症以前のような活動に戻りつつあります。また、新たな取り組みとして、地域の相談ステーション「もっともっと」の地区担当がそれぞれの地区でのイベントに参加し、イベント会場での募金活動も始めて行うことができました。その他、インターネットを活用した募金等、感染症に配慮した活動も継続的に続け、様々な形で募金ができる仕組みが始まっています。

○ 一般共同募金配分金事業

一般（赤い羽根）募金結果

目標額　1,510,000 円

実績額　1,379,926 円（対前年度比　＋110,648 円）

≪街頭募金活動の実施≫

① 箱根町ボランティア連絡協議会による街頭募金

日　時　令和４年 10 月３日（月）　午前 10：30　～　11：30

場　所　箱根湯本駅構内

参加者　ボランティア連絡協議会・ボランティア団体、ボランティア、本支会委員、本支会職員

募金額　8,849 円

※令和 4 年度は、街頭募金活動に一部制限があったことから上記 1 回のみとなっており、例年実施していた学生等との街頭募金については中止しております。

【10/3 湯本駅での街頭募金の様子】

写真

（省略）

≪イベント募金活動の実施≫

① 星槎大学祭りでのイベント募金

日　時　令和４年 10 月 23 日（日）
午前 10：00　～　午後３：00

場　所　星槎大学キャンパス

募金額　6,756 円

【10/23 星槎大学での募金の様子】

写真

（省略）

② 仙石原文化センター祭りでのイベント募金

【12/4 文化センター祭りでの募金の様子】

写真

（省略）

日　時　　令和４年 12 月４日（日）
　　午前 10：00　～　午後４：00
場　所　　仙石原文化センター
募金額　　7,921 円

③ 赤い羽根おみくじを活用したイベント募金
日　時　　令和４年 10 月１日　～　令和４年 12 月 31 日
場　所　　箱根町社会福祉協議会内
募金額　　1,600 円

○ 年末たすけあい配分金事業
年末たすけあい募金結果
目標額　　1,700,000 円
実績額　　1,551,903 円（対前年度比　－135,886 円）

○第 45 回神奈川県福祉作文コンクール
町内小・中学校から提出された福祉をテーマにした作文について、審査会を開催し代表作品を選出し、１作品が入選いたしました。

応募数　２編（小学校２編、中学校０編）
選出数　２編
①「もっと知ってほしい」　函嶺白百合学園小学校６年生徒
※ 神奈川新聞社長賞入選
②「大切な時間」　箱根町立湯本小学校６年生生徒

○ 共同募金功労者表彰・感謝
今年度は本支会より推薦はありませんでした。

○ 災害義援金の募集
≪ホームページによる災害義援金の募集≫
- 令和４年７月 15 日からの大雨に係る災害義援金（宮城県共同募金会）
- 石川県８月大雨災害義援金（石川県共同募金会）
- 令和４年８月山形県大雨災害義援金（山形県共同募金会）

- 令和４年８月新潟県大雨災害義援金（新潟県共同募金会）
- 令和４年８月大雨福井県災害義援金（福井県共同募金会）
- 令和４年８月大雨災害青森義援金（青森県共同募金会）
- 令和４年８月３日からの大雨災害義援金（中央共同募金会）
- 令和４年台風 15 号災害静岡義援金（静岡県共同募金会）